

講義名: 世界経済事情Ⅱ 02<秋> 曜日: 木4 担当教員名: モグベル ザファル	ナンバリングコード: ECON1440 曜日2:
研究室: 聖アンデレ館10階1030号室 オフィスアワー: 月曜日4限	メールアドレス: moghbel@andrew.ac.jp

授業形態
『講義』

講義・演習概要
この授業の主なテーマは国際貿易、国際金融、外国為替市場に係る諸制度です。世界経済でいま何が起きているのか。また、経済の現状を見つめるとき、世界の国々とその国民は何に期待を掛け、何を脅威と受け止めているのか。「世界経済事情Ⅱ」では、このような視点に立って「世界経済入門」の講義を行い、これらの分野に関連するトピックスを取り上げて分かりやすく説明します。できるだけタイムリーな、そして受講生が関心を持てるようなトピックスを選ぶことを目指します。なお、トピックスの内容や順序は、世界情勢の展開により変わることがあります。

学習(到達)目標
世界経済の仕組みと今日的トピックスについて分かりやすく解説することがこの講義の趣旨です。受講生は、新聞の国際経済記事を興味をもって読み、自分なりの理解と意見を持つことができるようになります。さらに、受講生は、世界経済に置ける貿易、海外投資、国際金融、為替市場などに関わる精度的な仕組みやルールについて理解を深め、自分の考えを述べるできるようになります。

講義・演習計画	
【第1回】 三つの国際経済機関の概要:組織と使命	
【第2回】 IMF、国際通貨基金について	
【第3回】 WTO、世界貿易機関について	
【第4回】 世界恐慌とその教訓	
【第5回】 近隣窮乏化政策の仕組み	
【第6回】 不況からの脱出:戦後の方程式	
【第7回】 GATT・WTOと自由貿易の追求	
【第8回】 日本の関税構造	
【第9回】 無差別の原則と最恵国待遇	
【第10回】 無差別の原則の例外:特恵関税制度	
【第11回】 無差別の原則の例外:地域統合	
【第12回】 自由貿易協定と経済連携協定	
【第13回】 多角的貿易交渉の後退と地域統合の問題点	
【第14回】 相互・互恵の原則と貿易紛争処理	
【第15回】 相互・互恵の原則の例外:セーフガードとダンピング	

成績評価の方法					
試験	0%	レポート	40%	その他	60%
コメント	レポート:期末レポートを最終評価の40%とします。ただし、状況によっては期末レポートを期末試験に切り替えることがあります。 その他:各授業に合わせて課題を出します。事前に指定する4回の課題を成績評価の対象としますので必ず提出してください。 成績評価対象課題は各15%、合計60%とします。				

テキスト			
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	

参考文献
テキストの代わりに、資料をほとんど毎回配布するので、配布資料の責任ある管理を期待する。

事前および事後学習の指示 (事前学習 30 時間・事後学習 30 時間)
1. 経済学の基礎を復習しておくこと。
2. 配布資料を正しく管理し、その内容について予習・復習を行うこと。
3. 新聞の、国際経済関連の記事を継続的に読み、世界経済の現状をできるだけリアルタイムで追うこと。

その他備考(担当教員用)

キーワード

備考(管理者用)
(旧:世界経済事情)02~10生読替